

令和元年度は2事業者を表彰しました！

市では、家庭生活、職場、地域などのあらゆる分野で男女が自らの意思によって活動し能力を発揮できる環境づくりに積極的に取り組んでいる個人や団体を募集して表彰しています。令和元年度は、2事業者を表彰しました。



表彰事業者紹介（順不同、敬称略）



下紺屋町自治会

古くからのしきたりなども残っている地域の中で、女性の細やかさを活かし、自治会三役の会計部長、役員を選考委員長など重要な役職や、民生児童委員、福祉推進委員などにも女性を多く登用しており、適材適所の配置を行っています。

自治会のグループや委員会活動を行っている方は大半を女性が占めており、高齢者の方のグループ大樹会では「いきいきサロン」として八幡宮のケヤキ落葉清掃活動や、各種スポーツ大会や祭り、小学生との交流会など、多くの行事に参加をしています。

また、ふれあい街づくり推進委員会実行班（フーマーさん）では、独居高齢者宅へ乳酸菌飲料を届ける激励訪問を毎月実施しています。

ひと ひと 女と男うえだ市民の会パソコン同好会

女と男うえだ市民の会は、女性の地位向上のため平成5年設立し、学習活動や市政への提言など、市民主導の男女共同参画社会実現のために活動をしている団体です。

パソコン同好会は、「機関紙を会員の力で作成できるようにしたい」という思いからスタートし、17年間継続しています。現在は、男：女＝3：7と女性の参加率が高く、女性の中から講師の助手ができる人も出てきています。パソコン以外にも「男女共同参画社会への課題」「健康問題」など、会員の学びの意欲に応じていく学習も重ね、知識の向上、行動力の向上にも繋げています。